

2014年度 JSBA  さんわか
JSBA 日本農芸化学会 産学官若手交流会

産学官学術 交流委員会 フォーラム

2014年3月29日(土) 13:30~
(2014年度農芸化学会東京大会と併催)

明治大学 生田キャンパス
中央校舎6階メディアホール(第1部~第4部)
食堂館(第5部)

主催: 日本農芸化学会「産学官学術交流委員会」、
「産学官若手交流会(通称:さんわか)」

第1部 13:30~14:30

第11回 農芸化学研究企画賞受賞者研究企画発表会・
第9回 農芸化学研究企画賞受賞者最終報告会

第2部 15:40~16:10

第10回 農芸化学研究企画賞中間報告会

第3部 15:40~16:10

ポスターディスカッション

産・学・官の輪(最新の産学官連携研究をポスターで紹介)

第4部 16:10~18:15

シンポジウム「実用化が見えてきた 産学官で挑む バイオマス研究最前線」

1. 「地域から糖液が溢れる未来のための稲わら変換技術「CaCCOプロセス」開発」
徳安 健(農研機構・食品総合研究所食品素材科学研究領域)
2. 「バイオマス糖化酵素の開発とバイオエタノール生産の現状」
眞野 弘範(ノボザイムズジャパン株式会社)
3. 「実バイオマスからのエタノール、バイオ化学品の一貫生産への挑戦」
蓮沼 誠久、荻野 千秋、近藤 昭彦(神戸大学)

第5部 18:30~20:00

技術交流会(ミキサーと合同開催)

特別講演

イグ・ノーベル賞
受賞記念特別講演

(14:35~15:40)

- 1 「催涙因子合成酵素・
発見のきっかけからその後の展開」
今井 真介(ハウス食品グループ本社株式会社)
- 2 「イグ・ノーベル賞をもらって」
熊谷 英彦(石川県立大学)



プログラムの詳細は、農芸化学会大会要旨集もしくはさんわかホームページをご覧ください。(http://www.jsbba.or.jp/event/sanwaka/)
お問い合わせ先 E-mail: sanwaka_open@jsbba.or.jp

